

専門的口腔ケアの標準化

～誤嚥予防の為の口腔ケア用ジェルの開発～

誤嚥性肺炎の予防には、数ある方法の中でも口腔ケアの実践が極めて重要です。口腔ケアを行うことは、細菌の誤嚥や低栄養を防ぎ、誤嚥性肺炎や他の疾病の予防や治療に貢献し、合併症なく早期退院の達成につながると期待されています。

しかし、口腔ケアを必要とする要介護高齢者はほぼ全員が有病者であり、口腔ケア中の誤嚥予防などのリスク管理を怠ってはいけません。咳反射や嚥下反射が低下した要介護高齢者への水を使って洗浄する口腔ケアの施行は、誤嚥性肺炎起炎菌を含む洗浄水を誤嚥させる可能性があります。鶴見大学の菅先生は口腔湿潤剤を応用した口腔ケア手法を検討し、安全で確実なケアが行えると報告しています。そこで我々は、菅先生の口腔ケア方法を発展させ、口腔ケア専用ジェルと吸引嘴管を使用した専門的口腔ケア（水を使わない口腔ケア）のシステムを開発しました。

同時に多くの基礎研究・臨床研究を通して、専門的口腔ケア時に使用する、口腔ケア専用ジェルを産官共同研究にて新規に開発しました（「お口を洗うジェル」平成27年7月3日発売日本歯科薬品株式会社）。このジェルを使用して口腔ケアを行うことで、口腔ケア中の誤嚥事故の減少や汚染物の効果的な除去が可能であると考えられます。このような口腔ケア用ジェルを使用した専門的口腔ケアが普及することが、誤嚥性肺炎の減少に繋がると考えています。



初診時



退院時